

多様な視点が見え、異なる価値観が交差する対話の場で、未来の倫理を共に思索するキックオフシンポジウム。

あたらしい 倫理をつくる

—芸術による魂の復権—

芸術は魂を揺るがす。



Kyoko SUGIURA 《Symbiose -2-》(2017) ©Takeshi SUGIURA

登壇者

13:25-13:50

清水知子
(東京藝術大学)

「すばらしい新世界と生命の倫理
——ゾンビ・ヒューマニズム、
あるいは資本主義の行方」

13:50-14:15

吉岡洋
(京都芸術大学)

「生まれ変わる準備——
《転生》の非スピリチュアル解釈」

14:30-14:55

大久保美紀
(情報科学芸術大学院大学[IAMAS])

「倫理は人類のものか？
非人間存在への《共感》を思考
する」

14:55-15:20

三輪眞弘
(京都芸術大学)

「創作と倫理（現代社会におい
て「作品を創る」こと）」

15:20-15:45

小澤京子
(和洋女子大学)

「うんこになる覚悟はあるか？
食うことと食われることの倫理を
再考する」

15:45-16:10

ビュールク・トーヴェ
(埼玉大学)

「薬としての演技・演者—
近世期の不動明王の芸と團十郎
の睨み」

キックオフシンポジウム

2025.

03

24

MON

埼玉大学
シアター教室

13時—17時半

趣旨説明 13:00-13:25

加藤有希子
(埼玉大学)

「新しい倫理をつくる——
キックオフシンポジウム趣旨説明」

座談会 16:30-17:30

司会:加藤有希子

※会場からの質問受け付け